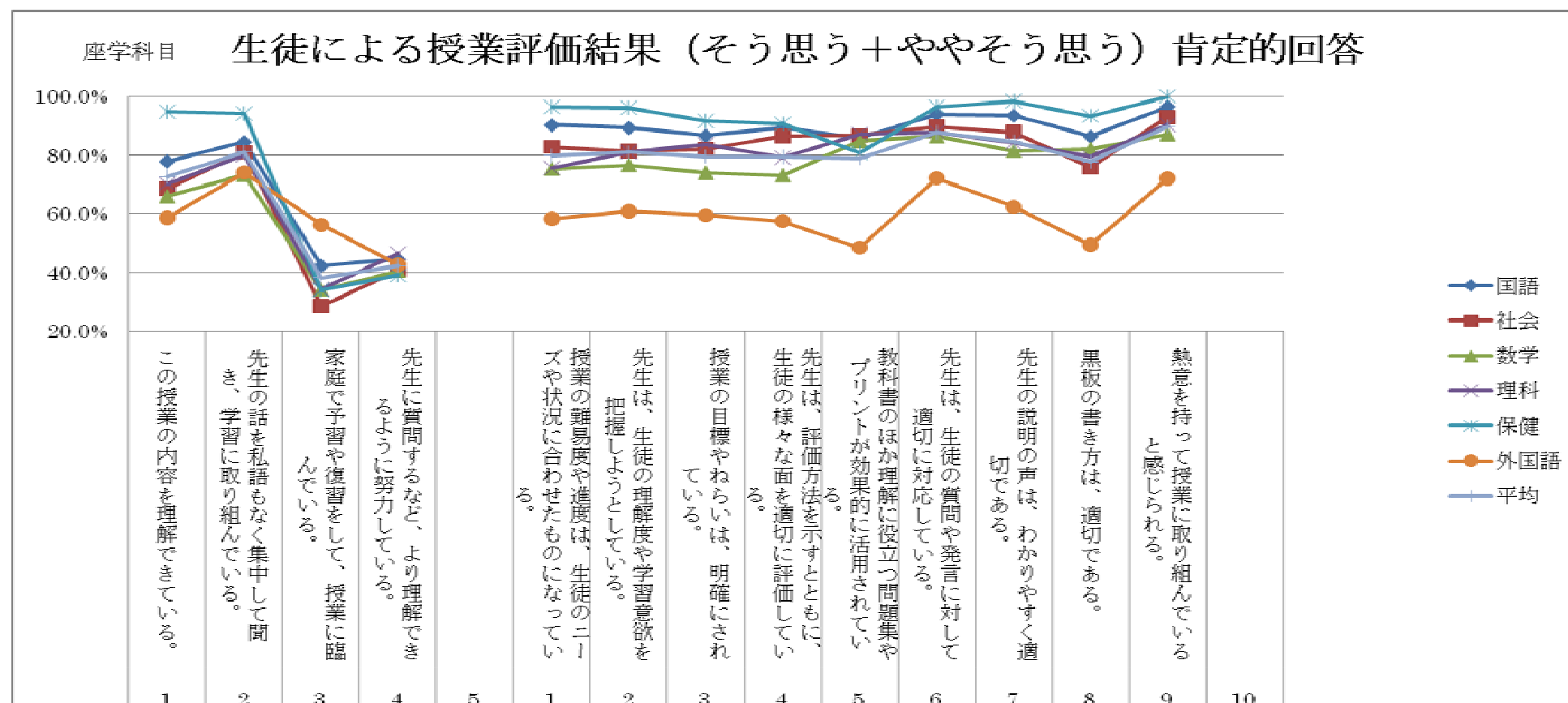


## 授業評価結果（教科別結果）

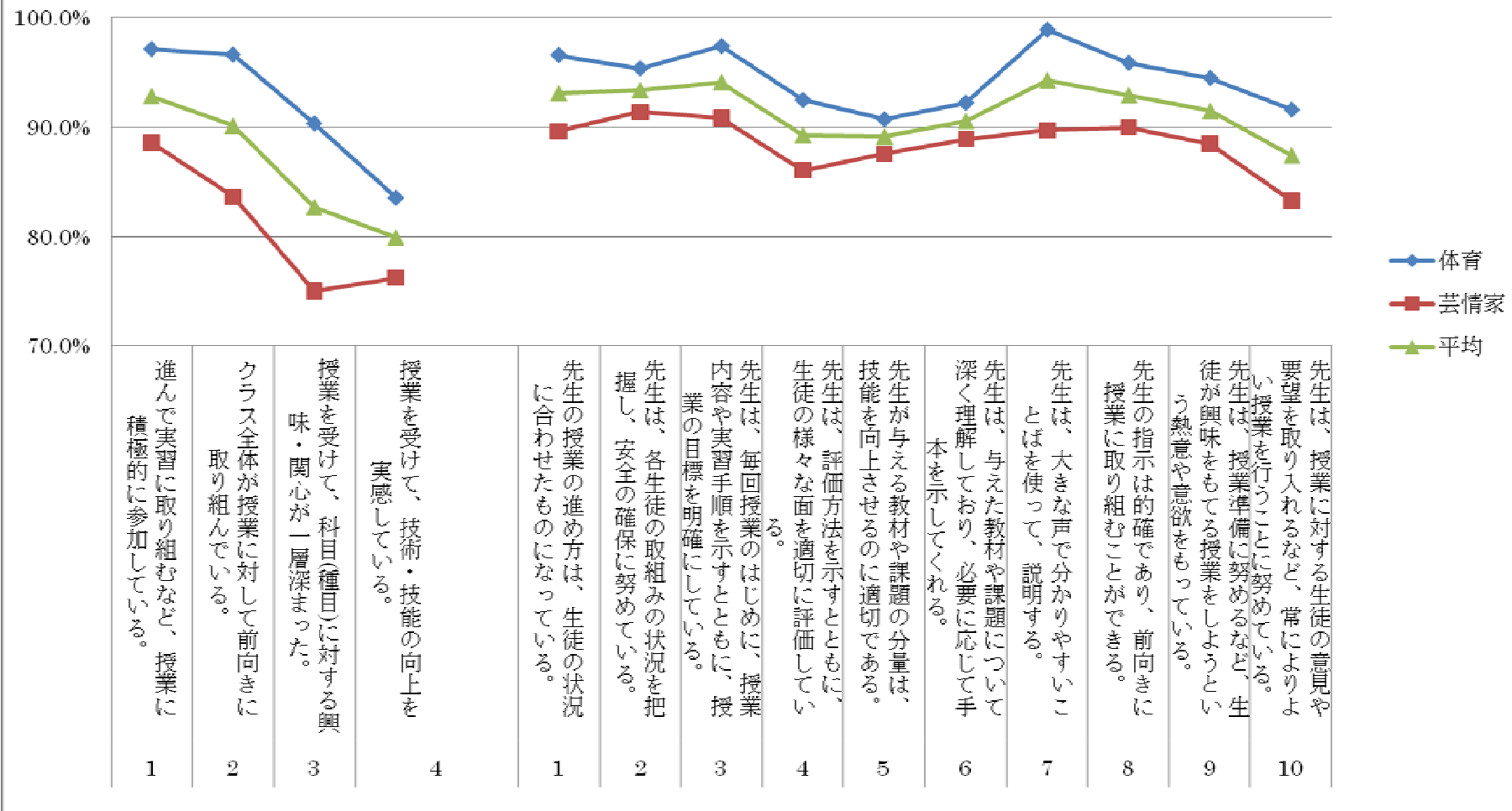


### 【分析】

- ・全体として、授業内容が理解できている生徒が70%以上、授業に集中できている生徒が80%以上、ニーズに合った授業と感じる生徒が80%と、良好な結果が得られた。
- ・外国語科の数値が相対的にやや低く出ているのは、専門教科・科目としての英語を学んでいることもその一因と考えられる。
- ・生徒の予習・復習の割合が一番高い外国語科でも56%に止まっている。家庭学習を引き出す授業の取り組みが必要である。
- ・「理解できない生徒を残さない」という姿勢に立って、一層の授業改善に努める。

実技科目

## 生徒による授業評価（そう思う＋ややそう思う）肯定的回答



1	進んで実習に取り組むなど、授業に積極的に参加している。
2	クラス全体が授業に対して前向きに取り組んでいる。
3	授業を受けて、科目(種目)に対する興味・関心が一層深まった。
4	授業を受けて、技術・技能の向上を実感している。
1	先生の授業の進め方は、生徒の状況に合わせたものになっている。
2	先生は、各生徒の取組みの状況を把握し、安全の確保に努めている。
3	先生は、毎回授業のはじめに、授業内容や実習手順を示すとともに、授業の目標を明確にしている。
4	先生は、評価方法を示すとともに、生徒の様々な面を適切に評価している。
5	先生が与える教材や課題の分量は、技能を向上させるのに適切である。
6	先生は、評価方法を示すとともに、本を示してくれる。
7	先生は、与えた教材や課題について深く理解しており、必要に応じて手本を示してくれる。
8	先生の指示は的確であり、前向きに授業に取り組むことができる。
9	先生は、大きな声で分かりやすいことばを使って、説明する。
10	先生は、授業準備に努めるなど、生徒が興味をもてる授業をしようという熱意や意欲をもっている。

### 【分析】

- ・実技教科にあっても、いずれも高い数値の結果が出ている。
- ・今後も、よりよい授業実践に取り組んでいく。